

2月28日、津山市は加茂町、阿波村、勝北町、久米町と合併し、新生「津山市」^{ふっしよく}としてのスタートを切りました。地域の先行きに対する不安や懸念の払拭に努め、将来、市民のみなさんに「合併して本当に良かった」と思っていただけよう全力を尽くす所存です。

現在、国では三位一体改革を始めとする地方分権を推進しており、地方自治体の財政状況はさらに厳しくなるものと予想されます。その一方、地方への権限移譲も大きく前進し、地域の実情に合わせた行政運営が可能となります。こうした状況のもと、本市では従来にも増して経営感覚に基づく効率的な行財政運営を進め、強い財政基盤と優れた施策立案力、そして強い実行力を備えた自治体へと変ぼうを遂げなければなりません。

また、今後の津山市においては、均衡ある発展が大きな課題となります。旧5市町村の特色ある歴史・文化と豊かな地域資源への認識を深め、その最大限の活用を図るとともに、それぞれの地域で今日まで進められてきたまちづくりを基本としながら、都市的なサービスと豊かな自然の恵みをあわせて享受できる「キラめく未来、人と自然が活きるまち」を実現したいと考えております。

さらに、活力に満ちた地域社会の創造のためには、地域の「連携と融和」が不可欠です。今後、旧来の地域の垣根を越える積極的な交流を促進し、市民のみなさんが思いやりの心や郷土への誇りを共有できるまちをめざしてまいります。

新生「津山市」のさらなる飛躍に向け、みなさんのいっそうのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。



「キラめく未来、人と自然が 活きるまち」をめざして

梅花馥郁^{ふくいく}のこの2月、古来より歴史的につながりの深い津山地域の津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町がともに手を携え、新「津山市」が誕生いたしました。

今回の合併は、少子高齢化、環境問題、高度情報化など、私たちを取り巻く社会環境・生活環境が大きく変化する中、行財政改革を着実に進め、行政の簡素化・効率化および財政基盤の強化を図り、複雑多様化・広域化する住民ニーズに適切に対応することを目的とするものであります。

新「津山市」が有する緑あふれる美しい自然に恵まれた地域と、都市的機能を備えた地域が「連携と融和」を理念に県北の中核都市として「明るく豊かな住みよいまち」へと発展していくためには、それぞれの地域が持つ優れた特性、また長きにわたり培われた独自の歴史・文化を活かしながら、自治協働の意識をさらに高め、市民一丸となり努力していくことが大切ではないかと考えます。

市議会といたしましては、この合併によりそれぞれの地域から新たに加わる7人の議員とともに、市民の負託と信頼にこたえ、地方自治の拡充・強化と住民福祉の増進のため、また住民の声がより反映された市政進展に向けて努力していく所存であります。

新市の限りない発展と、11万市民みなさんのご健勝とご多幸を心からお祈りし、新市誕生にあたってのごあいさつといたします。

